

# 東京都立羽村高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科：地理歴史科

科目：日本の歴史1

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～8組

教科担当者：(1組～8組：佐藤)

使用教科書：詳説日本史B 改訂版(山川出版社)

使用教材：山川ビジュアル版 日本史図録(山川出版社)

	指導内容	日本の歴史1の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	ガイダンス 第1部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの 1. 文化の始まり	授業内容や評価方法について 日本列島における旧石器文化・縄文文化の時代の社会を考察させる。 土器と石器の使用、竪穴住居の状況など社会の変化について理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関心・意欲・態度</li> <li>・思考・判断・表現 (授業態度)</li> <li>・知識・理解 (プリント提出) (ノート提出) (定期考査)</li> </ul>	6
5月	2. 農耕社会の成立 3. 古墳とヤマト政権	水稲耕作の開始・金属器の伝来が弥生文化の社会に与えた影響を理解させ、環濠集落等の考古学的知見や、文献資料に基づき、小国の形成から連合について理解させる。 ヤマト政権による国家の形成過程について、東アジア世界との関係を踏まえて考察させる。 古墳時代後期～終末期の変容と、ヤマト政権の政治制度を理解させる。		6
6月	第2章 律令国家の形成 1. 飛鳥の朝廷 2. 律令国家への道 3. 平城京の時代	推古朝の政治や飛鳥文化の形成について、仏教の受容や遣隋使などを踏まえて考察させる。 律令国家成立までの政治の動向と白鳳文化、律令に基づく国内統治体制について理解させる。 平城京における律令体制の整備について考察させる。 藤原氏を中心とする政争と、公地公民制の乱れなど土地制度の変容について考察させる。		8
7月	4. 天平文化	盛唐文化の受容に着目し、仏教美術の展開、鎮護国家の思想などについて考察させる。		4
9月	5. 平安王朝の形成 第3章 貴族政治と国風文化 1. 摂関政治	東北経営や地方統治の変容を踏まえて、平安前期の律令体制の変質について考察させる。 唐文化を受容し、密教芸術が生まれた弘仁・貞観文化の意義を理解させる。 藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について考察させる。		6
10月	2. 国風文化 3. 地方政治の展開と武士	大陸文化の消化と末法思想を前提とした新しい貴族文化としての国風文化を理解させる。 国司の支配の変容と公領の変質、荘園の発達を踏まえて地方支配の状況を考察させる。		8
11月	第II部 中世 第4章 中世社会の成立 1. 院政と平氏の台頭	地方の反乱と鎮圧など、武士の成長と進出過程について、考察させる。 院政の政治構造や経済・社会・文化を理解させる。 外戚関係や日宋貿易の展開など平氏政権の特性を考察し、武家政権の成立過程を把握させる。		8
12月	2. 鎌倉幕府の成立	鎌倉幕府が東国の地方政権から全国的な武家政権に成長していく過程を理解させる。	4	
1月	3. 武士の社会	土地に対する実質的な支配権を地頭が掌握するに至った過程を考察させる。	6	
2月	4. 蒙古襲来と幕府の衰退 5. 鎌倉文化	モンゴル襲来による政治・経済等への影響が幕府の衰退につながったことを理解させる。 鎌倉新仏教の成立など、文化の新しい気運が生まれたことを理解させる。	8	
3月	5. 鎌倉文化 学習のまとめ	鎌倉新仏教の成立など、文化の新しい気運が生まれたことを理解させる。	6	
				70